

2024年12月13日

各位

碧海信用金庫

東海研究開発1号投資事業有限責任組合へのLP出資について

碧海信用金庫（理事長：深谷誠）は、このたび下記ファンドにLP(有限責任組合員：出資者)として出資することになりましたのでお知らせします。

記

1. ファンドの概要

岐阜大学と名古屋大学を運営する国立大学法人東海国立大学機構（以下：「機構」）の孫会社である株式会社 Central Japan Innovation Capital（本社：愛知県名古屋市）が、ディープテック×B to B をテーマとするスタートアップ企業への出資・事業支援を行う1号ファンドです。

名称	東海研究開発1号投資事業有限責任組合 (英語名: Central Japan Innovative Research Fund I, LPS)
想定ファンド規模	50~100億円
投資対象	国内外のシード・アーリーステージを中心としたディープテックスタートアップ
無限責任組合員(GP)	株式会社 Central Japan Innovation Capital (CJIC)
有限責任組合員(LP)	愛知県、名古屋市、事業会社、金融機関等
運用期間	2024年11月30日より10年間(最大5年の延長あり)
投資方針	<ul style="list-style-type: none">ディープテック(情報技術、モビリティ、AI・ロボティクス、材料・半導体、ライフサイエンス、モノづくり(生産工学等)、アグリ等)領域において、テクノロジーによる社会課題解決を目指すスタートアップ企業への投資と事業支援を行う。大学発スタートアップを中心に、国内外の有望なシード・アーリーステージを中心としたスタートアップが投資対象。必ずしも東海地域発のスタートアップである必要はなく、「東海地域に大きなインパクトを与えうるか」を判断材料の1つとする。

2. 当金庫の出資について

- 当金庫は、同ファンドのファーストクローズ(ファンド総額33億円)において、LP出資者として参加しました(出資額は未公表)。
- 当金庫は、地域の将来を担う新たなディープテックスタートアップの発展を支援するとともに、産学連携等の推進にも力を入れてまいります。

以上